

作成日:2017年06月27日

## 製品安全性データシート

### 1.【製品及び会社情報】

カタログ番号	212292
製品名	BD BBL™ ペニシリン無添加マイコプラズマエンリッチメント
会社名	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
住所	東京都港区赤坂4丁目15番1号
連絡先	0120-8555-90
	利用可能時間:9:00 - 17:00(土曜、日曜、祝日、弊社指定休日を除く)
使用上の制限	研究用試薬

### GHS 分類

物理化学的危険	<b>2.【危険有害性の要約】</b> 火薬類 可燃性・引火性ガス 可燃性・引火性エアゾール 支燃性・酸化性ガス 高圧ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過酸化物 金属腐食性物質	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類できない 分類できない 分類対象外 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類対象外 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:ガス) 急性毒性(吸入:蒸気) 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性(単回曝露) 特定標的臓器・全身毒性(反復曝露)	区分2 分類できない 区分外 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分外 区分外 区分外

シンボル	環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性 水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	分類できない 区分外 区分外



**注意喚起語**

**危険**

**危険有害性情報  
注意書き**

飲み込むと生命に危険(経口)

安全対策

- ・適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・使用前に取扱説明書を入手し熟読すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・個人保護具や換気装置を使用し、曝露を避けること。
- ・使用中に吸入される粒子が発生するかもしれない場合は、ミストを吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

応急処置

- ・汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
- ・飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・曝露またはその懸念がある場合、医師の診断を受けること。
- ・吸入により気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
- ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が持続する場合には、医師の診断、手当てを受けること。

保管

- ・涼しく換気の良いところで保管すること。
- ・密閉性の容器にて保管すること。
- ・施錠して保管すること。

廃棄

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

**3.【組成、成分情報】**

単一製品・混合物の区別      混合物   劇物

化学名または一般名	濃度 (%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
酢酸タリウム	0.001~0.002	563-68-8	(2)-2125	-

**4.【応急措置】**

吸入した場合

気分が悪いときは、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

## 5.【火災時の措置】

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	特定していない。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

## 6.【漏出時の措置】

人体に対する注意事項 保護具および緊急措置	<p>作業者は適切な保護具(「8. 曝露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やミストの吸入を避ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 密閉された場所に立入る前に換気する。 漏出した場所の周囲にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。</p>
環境に対する注意事項 回収・中和 封じ込め及び浄化の 方法・機材	<p>漏出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。 可能な限り密閉できる空容器に回収する。回収後に廃棄処理する。 危険でなければ漏れを止める。</p>
二次災害の防止策	<p>少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラスチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。</p>

## 7.【取扱い及び保管上の注意】

取扱い	
技術的対策 局所排気装置・全体換気 安全取扱注意事項	<p>「8. 曝露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 「8. 曝露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 空気中の濃度を曝露限度以下に保つために排気用の喚起を行うこと。 取扱い後に手・顔等をよく洗い、うがいをする。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。 環境への放出を避けること。</p>
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管	
技術的対策 混触禁止物質 保管条件	<p>耐腐食性の内張りがされているもので、適切な容器で貯蔵すること。 「10. 安定性及び反応性」を参照。 容器は密閉して換気の良い冷暗所に保管する。 耐腐食性、耐腐食性内張りのあるもの、又は適切な材料の容器で保管すること。 施錠して保管すること。</p>
容器包装材料	国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8.【曝露防止及び保護措置】

製品としての有害性情報がないため以下、酢酸ナトリウムの情報を記載する。	
管理濃度 (作業環境評価基準)	未設定

**許容濃度**

日本産業衛生学会 未設定(2007年版)  
ACGIH TWA 0.1mg/m<sup>3</sup>(TIとして)(2007年版)

**設備対策**

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
曝露を防止するため、装置の密閉化または局所排気装置を設置すること。

**保護具**

呼吸器の保護具 適切な呼吸器保護具を着用すること。  
手の保護具 適切な保護手袋を着用すること。  
眼の保護具 適切な眼の保護具を着用すること。  
皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用すること。

**衛生対策**

この製品を使用する時に、飲食および喫煙をしないこと。  
取扱い後は顔や手をよく洗うこと。

**9.【物理的及び化学的性質】**

物理的状态、形状、色など 黄褐色の紛体  
臭い 特徴的な臭い  
pH データなし  
融点・凝固点 データなし  
沸点、沸騰範囲 データなし  
引火点 データなし  
燃焼範囲 下限・上限 データなし  
蒸気圧 データなし  
蒸気密度(空気=1) データなし  
比重(密度) データなし  
溶解度  
水 水に可溶  
n-オクタノール/水分配係数 データなし

**10.【安定性及び反応性】**

製品としての有害性情報がないため以下、酢酸ナトリウムの安定性及び反応性情報を記載する。

安定性 法規制に従った保管および取扱いにおいては安定と考えられる。  
危険有害反応可能性 データなし  
避けるべき条件 データなし  
混触危険物質 データなし  
危険有害な分解生成物 データなし

**11.【有害性情報】**

製品としての有害性情報がないため以下、酢酸ナトリウムの有害性情報を記載する

**急性毒性**

経口 ラットの LD50=41.3 mg/kg (PATTY (5th, 2001))より区分2とした。  
経皮 データなし  
吸入 ガス:GHS の定義における固体であるため。  
蒸気:データなし  
ミスト:データなし  
粉じん:データなし

**皮膚腐食性・刺激性**

皮膚腐食性・刺激性 データなし  
眼に対する重篤な損傷・刺激性 データなし  
呼吸器感作性 データなし  
皮膚感作性 データなし  
生殖細胞変異原性 データ不足のため分類できない。  
発がん性 データなし

生殖毒性	ラット及びマウスに、胎児の体重減少や肋骨・脊椎の奇形がみられ (EHC 182(1996))、また、ラット胎児に筋骨格系の異常が見られたとの記述がある (PATTY(5th, 2001))ことから、区分2とした。
特定標的臓器／全身毒性(単回)	Priority 1(PATTY(5th, 2001))の文書中、症例数は少ないもののヒトに対して神経障害を起こしたという記述があるため、区分1(神経系)とした。また Priority 1(PATTY(5th, 2001), IRIS(1990))の文書中、区分2への分類を助けるガイダンス値の範囲で、ラットに対し脱毛の症状が見られるため、区分2(毛(脱毛症))とした。
特定標的臓器／全身毒性(反復)	Priority 1(PATTY(5th, 2001))の文書中、症例数は少ないもののヒトに対して神経障害を起こしたという記述があるため、区分1(神経系)とした。また Priority 1(PATTY(5th, 2001), IRIS(1990))の文書中、区分2への分類を助けるガイダンス値の範囲で、ラットに対し脱毛の症状が見られるため、区分2(毛(脱毛症))とした。
吸引性呼吸器有害性	データなし

## 12.【環境影響情報】

製品としての有害性情報がないため以下、酢酸タリウムの環境影響情報を記載する

水性環境急性有害性	魚類(トウゴロウイワシ)の 96 時間 LC50=31000 μg/L(AQUIRE, 2003)から、区分3とした。
水性環境慢性有害性	急性毒性が区分3、金属化合物であり水中での挙動および生物蓄積性が不明であるため、区分3とした。

## 13.【廃棄上の注意】

残余廃棄物	廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

## 14.【輸送上の注意】

国際規制	国連番号 該当なし 国連分類 該当なし
国内規制	陸上規制情報 該当なし 海上規制情報 船舶安全法の規制に従う。 航空規制情報 航空法の規制に従う。
特別の安全対策	移送時にイエローカードの保持が必要。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に進行。

## 15.【適用法令】

労働安全衛生法	該当なし
労働基準法	該当なし
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当なし
毒物及び劇物取締法	劇物(指定令第2条)(政令番号30-4)
大気汚染防止法	該当なし

水質汚濁防止法施行令 第2条有害物質	該当なし
海洋汚染防止法	個品運送P(施行規則第30条2の3、国土交通省告示)
消防法	危険物非該当
船舶安全法	毒物類・毒物
航空法	毒物類・毒物

## 16. 【その他の情報】

### 参考文献

NITE 総合検索

厚生労働省ウェブサイト 職場のあんぜんサイト GHS 対応モデルラベル・モデル MSDS 情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

改訂履歴	2011年01月18日	新規作成
	2011年03月01日	15. 【適用法令】化学物質排出把握管理促進法に「第2種指定化学物質」を追加。
	2016年02月05日	2. 【危険有害性の要約】GHS分類： 物理学的状態の修正に伴い、分類を修正。 注意書き：「応急措置」を「応急処置」に修正。 4. 【応急処置】を【応急措置】に修正 9. 【物理的及び化学的性質】「物理的状态、形状、色」の修正 15. 【適用法令】労働安全衛生法に「名称等を表示すべき危険物及び有害物」を追加。 化学物質排出把握管理促進法：「該当なし」に修正。
	2017年06月27日	酢酸タリウムの濃度を修正。 2. 【危険有害性の要約】GHS 分類を修正。 15. 【適用法令】労働安全衛生法に「名称等を表示すべき危険物及び有害物」「名称等を通知すべき危険物及び有害物」を削除。